

まちづくり
トップニュース

【桑折町歴史的風致維持向上計画】が 国の認定を受けました！

桑折町の「歴史的風致維持向上計画」が平成28年3月28日に国（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）の認定を受けました。本県では、白河市、国見町、磐梯町に続き4番目の認定となります。

■桑折町歴史風致の概要

重要文化財「旧伊達郡役所」や伊達氏居城の史跡「桑折西山城跡」等と、諏訪神社の夏祭りや半田の京都祇園囃子等からなる歴史的風致の維持向上を図るため、桑折西山城跡の整備や歴史的建造物の修景助成、歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業等が位置づけられています。



桑折町の重点区域における事業概要

重点区域の名称：桑折町歴史的風致維持向上地区
面積：566ha

【桑折町全域】

- 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業
- 歴史・文化財学習講座事業
- 歴史案内育成事業
- 小中学生の認識向上推進事業
- 多言語周遊型観光パンフレット作成事業
- 地域の文化遺産の調査及び継承支援事業
- 文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業

【重点区域内】

- 屋外広告物等の景観に配慮した改修に対する助成事業
- 周遊性向上・案内板等整備事業

1. 史跡桑折西山城跡整備事業
戦国時代の山城を体験的に学習し、眺望や自然を楽しみ、憩える場所として、堀・土塁・大手道などの復元や遊歩道の整備、樹木の伐採、伊達氏関連史跡の解説も含めたガイダンス施設設置などの整備を行う。
■桑折西山城跡整備方針図

4. 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業
桑折宿に残っている歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物について、修理・修景する際の費用の一部を助成し、定期的に一般に公開する。
■歴史的建造物の修景イメージ

6. 西根堰及び水路修景事業
西根堰や西根堰から分水する水路について、古い構造物が残っている部分の保存・維持を図るとともに、歴史的風致が色濃く残る場所に子供や大人が集まり楽しめる親水性のある空間として、復元・整備を行う。
■石積みが残る水路

8. 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業
歴史や文化財を活かしたまちづくりや、町並みや桃源郷の風景などの景観の維持・向上に関する住民向けの講演会やシンポジウムを開催する。
■西山城跡の講演会

11. 小中学生の認識向上推進事業
小中学生に本町の歴史や文化遺産に関する知識を持ってもらうため、桑折町を総合的に分かりやすく説明する教材を作成するとともに、子供たちが体験しながら学べるような授業を開発する。
■小学生用副読本

14. 周遊性向上・案内板等整備事業
歴史的建造物や文化財等を効率よく巡ることができる散策ルートを検討する。併せて、今後作成する案内板等の統一デザインを定め、散策ルートに合わせた案内板等の新設や更新を行う。
■案内板

計画についての詳しくは、桑折町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.koori.fukushima.jp/soshiki/3/>

ひろの防災緑地で植樹祭が開催されました

平成28年3月5日（水）に、ひろの防災緑地で植樹祭が開催されました。

広野町の下浅見川地区は、平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震の津波により、家屋や農地に甚大な被害がありました。

県では、浜通り地方の沿岸部10地区で防災緑地を整備しており、津波による浸水被害の軽減など防災機能強化や、津波で失われた海岸景観の再生のほか、平常時には自然とのふれあいの場としての利活用が期待されています。

ひろの防災緑地は、平成25年度に工事着手し、平成28年9月の供用開始を予定しています。

3月5日の植樹祭では、防災緑地の盛土が完了した一部の区域について、植樹を行いました。



復興まちづくりの整備イメージ



記念植樹の様子

○植樹活動の様子

記念植樹後の植樹活動では、県内外の一般企業や一般の参加者の方、NPO 団体など、520名が参加し、クロマツやエノキなど、5,000本の苗木が植樹されました。今回植樹された苗木のうち、2,500本は、一般の企業やNPO 団体から寄附を受けた苗木です。

植樹活動後には、参加者の方に豚汁やおにぎりが振る舞われました。



植樹活動の様子

現地視察報告

第9回まち交大賞 北海道北見市「るべしべちょうおんねゆおんせん留辺薬町温根湯温泉地区」

まち交大賞とは、都市再生整備計画に基づくまちづくりにおいて、特に優れた取り組みを行った地区に対して国土交通大臣から表彰されるものです。平成26年度に第9回まち交大賞を受賞した「留辺薬町温根湯温泉地区（北海道北見市）」を視察してきましたので報告します。

■都市再生整備計画概要

観光客の減少、空き店舗が増え温泉街としての景観も損なわれる等の課題から、温泉街を再生させるため、温泉街に滞在滞留しながら自然（森林・水・花）と共生する観光地を目指し、道の駅から観光施設へのウェルカムネットワークづくりを計画の目標としました。

【主要な事業】

観光施設へのアクセス道路の改良3路線、橋梁架け替え2橋、温泉ゆめ広場・つつじ公園の整備、山の水族館移転改築、農村公園（花公園根々の丘）の花木植栽、誘導・回遊させるための観光案内看板の整備

山の水族館

水族館プロデューサー中村元氏に建築費2億5千万円と超低廉な予算の設計を依頼。滝つぼの水槽や凍る水槽などの展示工夫により、開館してみれば入館者年間5万人の想定が1ヶ月で達成しました。



温泉ゆめ広場

アイヌの神話では女神が宿る木として大切にされてきたハルニシの木も伐採されることに…。その木を利用して彫刻家がモニュメントを製作し展示しています。



足湯も整備され、ゆっくりとくつろぐこと出来ます。隣接する無加川には親水空間が整備され、川遊びも出来るので子どもたちに人気です。



道の駅「おんねゆ温泉」

水族館の出口は道の駅に直結しており、売上高UPに繋がるよう工夫されています。木育遊具や木工体験クラフト工房も併設されており、子どもたちに人気です。

コラム：JR北見駅の自由通路

福島県内の都市再生整備計画事業でも駅構内で鉄道を跨ぐ自由通路の計画がありますが、北見市のJR北海道北見駅の自由通路の事例を紹介します。自転車も通行可としており、エレベーターで地上と行き来できるようにしています。



自由通路入口



通路部



自転車の乗車可

(都) 西郷搦目線 (登町工区) が開通しました!

(都) 西郷搦目線 (登町工区) が平成28年2月10日に開通しました。本路線は、白河市中心市街地を東西に貫く都市計画道路で、今回、登町工区が開通したことにより、新白河地域～白河市中心市街地間のアクセスが改善され、交通の円滑化が図られました。



■事業の概要

- ・事業位置 白河市高山地内外
- ・事業主体 白河市
- ・事業期間 平成8年～平成28年2月
- ・計 画 L=668m、W=20.0m
- ・全体事業費 約29億円



土木部メールマガジン登録受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、メルマガ登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>) からご覧いただけます。

メールマガジン (無料) の配信をご希望される方は

【土木部メルマガ希望または、解除】

をお書きのうえ下記アドレスまで

メール送信して下さい。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課(システム担当) 024-521-7886



【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp